

地域まるごと健康づくりをすすめます

地域連携室

地域の安心と健康づくりに連携します。入院・転院についてご相談ください。地域連携室は入院病床(94床)の運用を通じて、医療の質の向上を図るとともに、地域の医療・介護・福祉施設やサービス事業所等との連携をはかり、大泉生協病院を利用される方の「安心のネットワーク」をすすめます。多彩な検査・入院コースがありますのでご相談ください。

医療福祉相談課

病気になると、健康な時には考えてもみなかったような悩みや問題が出てきます。医療福祉相談課では、専任の医療ソーシャルワーカーがそうした問題に対して、外来、入院問わず無料で相談に応じ、問題解決のお手伝いをします。必要に応じて、地域の医療機関や行政、地域包括支援センター等の関係機関と連携を図り、社会復帰や自宅療養を支援しています。何かご心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

大泉生協病院は、HPH(健康増進活動拠点病院)※認定病院です。

※Health Promoting(健康増進活動)をすすめる拠点となるHospitals(病院)のことです。

大泉生協病院の特徴的な取り組み

- 外来**
 - 禁煙外来 ●ダイエット外来
 - フットケア外来
- 病棟**
 - 転倒・転落防止プロジェクト
 - NST:栄養サポートチーム
 - 摂食嚥下チーム ●褥瘡対策チーム
 - 認知機能障害医療委員会

病院職員と組合員の協力の取り組み

- まちかど健康チェック、班会での健康チェック
- ヘルスチャレンジ ●糖尿病患者会
- 保健講座 ●認知症サポーター養成講座
- 班会でのセラバンド・ロコモ体操
- ペリーナイス体操をリハビリスタッフと共に開発し普及

院長挨拶



さいとう まさゆき
齋藤 文洋 医師
大泉生協病院 院長
総合診療科 小児科
循環器内科

私たち大泉生協病院は、組合員さんを中心とした多くの地域の方々と共に、そして近隣のクリニックの先生方や医師会とも協力し、生涯にわたって住み慣れた地域で豊かに暮らせるお手伝いをいたします。そして、「体と心、社会的に健全であること」というWHO*の定義による健康を目標に、ヘルスプロモーション活動として、医療介護だけでなく、日頃の健康のこと、学校生活のこと、生活のこと、無料低額診療のことなど、あらゆる相談をお受けいたします。

※WHO(世界保健機関)...国際連合(国連)の組織の一つで、世界の健康に関するあらゆる分野を担当。その下部組織に国際HPHネットワークがあり、大泉生協病院はこの国際ネットワークの一員です。

医療福祉生協のいのちの章典

医療福祉生協とは

医療福祉生協は、地域のひとびとが、それぞれの健康と生活にかかわる問題を持ちよる消費生活協同組合法にもとづく自治的組織です。医療機関・介護事業所などを所有・運営し、ともに組合員として生協を担う住民と職員の協同によって、問題を解決するための事業と運動を行います。

医療福祉生協が大切にしている価値と健康観

私たちは、近代市民社会の大原則であり、日本国憲法の基本理念である主権在民の立場にたちます。私たちは、憲法13条の幸福追求権や9条の平和主義、25条の生存権を実現するため、主権在民の健康分野の具体化である健康の自己主権を確立します。私たちが大切にしている健康観は「昨日よりも今日が、さらに明日がより一層意欲的に生きられる。そうしたことを可能にするため、自分を変え、社会に動きかける。みんなが協力しあって楽しく明るく積極的に生きる」というものです。私たちは、この価値と健康観にもとづき、医療・介護・健康づくりの事業と運動をすすめ、地域まるごと健康づくりをめざします。

いのちとくらしを守り健康をはぐくむための権利と責任

ともに組合員として生協を担う私たち地域住民と職員には、いのちとくらしを守り健康をはぐくむために、以下の権利と責任があります。

自己決定に関する権利	私たちは、知る権利、学習権をもとに自己決定を行います。
自己情報コントロールに関する権利	私たちは、個人情報保護されると同時に、本人の同意のもと適切に利用することができるようにします。
安全・安心な医療・介護に関する権利	私たちは、安全・安心を最優先にし、そのための配慮やしきづくりを行います。
アクセスに関する権利	私たちは、必要な時に十分な医療・介護のサービスを受けられるように、社会保障制度を改善し、健康にくらすことのできるまちづくりを行います。
参加と協同	私たちは、主体的にいのちとくらしを守り健康をはぐくむ活動に参加し、協同を強めてこれらの権利を発展させます。

大泉生協病院のご案内

診療科目

- 内科 ●小児科 ●外科 ●整形外科 ●精神科
- 歯科 ●眼科 ●皮膚科 ●泌尿器科 ●婦人科
- リハビリテーション科 ●呼吸器内科 ●循環器内科
- 消化器内科 ●神経内科 ●糖尿病内科 ●内分泌科

主な医療・検査機器

- MRI(1.5T) ●全身用CT(80列マルチスライス)
- 心エコー・腹部エコー等 ●上部内視鏡・下部内視鏡
- 各種レントゲン診断装置 ●骨密度測定装置
- 血液・生化学自動分析装置 ●マンモグラフィー装置

最寄り駅

- 西武池袋線「大泉学園駅」南口より徒歩15分

最寄り駅からのバス路線

- 西武バス「大泉学園駅南口」発
吉61 吉61-1 吉62-1 吉祥寺駅行・
荻15 阿佐ヶ谷駅行・
西03 西荻窪駅行・
泉36 泉35-1 上石神井駅行
「第五上石神井住宅」下車、徒歩3分

お車でお越しの方

病院には駐車場がありますが、台数に限りがあるため出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。

外来診療時間

	受付	診察
午前	8:50~11:30	9:00~
午後 (注)	13:50~16:30	14:00~
	15:00~17:00	15:30~
休診	土曜午後・日曜・祭日・第4水曜午後 ※急病の場合は随時対応します。	

(注)2015年8月より。詳細については、お問い合わせください。



各種窓口 電話番号

代表	03-5387-3111	健診課	03-5387-3199
歯科	03-5387-3201	地域連携室	03-5387-3826
在宅部	03-5387-3119	医療福祉相談課	03-5387-3111

東京保健生活協同組合 大泉生協病院

〒178-0063 東京都練馬区東大泉6-3-3
http://ooizumi.net

東京保健生活協同組合 事業所一覧

練馬区 大泉生協病院 大泉生協病院歯科 大泉訪問看護ステーション 北園訪問看護ステーション 公園通り訪問看護ステーション 介護センター健生線馬 公園通り居宅介護支援事業所	文京区 東京健生病院 氷川下セツルメント歯科 大塚診療所 根津診療所 介護センター健生 介護老人保健施設ひかわした オリーブの樹(介護用品の販売、レンタル) 看護小規模多機能型居宅介護 千石にじの家	豊島区 鬼子母神診療所 鬼子母神診療所歯科 南池袋訪問看護ステーション 介護センター健生豊島 雑司が谷みみずくの里	台東区 橋場診療所 橋場診療所歯科 亀泉協立診療所 蔵前協立診療所 言問通り訪問看護ステーション 訪問看護ステーションたいとう ヘルパーステーションあさがお よみせ通りいこいの家
新宿区 江戸川橋診療所 江戸川橋診療所歯科	中央区 鉄砲州診療所 てっぽうず鍼灸治療院 訪問看護ステーションてっぽうず		

東京保健生活協同組合 大泉生協病院のご案内



大泉生協病院の使命

- 1.すべての世代の人びとのために、総合的で質の高い医療を提供します。
- 2.組合員とともに、ヘルスプロモーション※活動を行います。
- 3.組合員とともに、保健・医療・介護のネットワークを強め、地域の人びとをささえます。
- 4.組合員とともに、困っている人に寄り添い、手助けします。

※ヘルスプロモーションとは、「個人の生活習慣を改善すること」「貧困など社会的な問題に働きかけて、よりよい環境をつくること」「人生の楽しみを享受して、より豊かな人生をおくること」といった、人びとが自ら健康をコントロールし改善する運動のことです。

当院では差額ベッド代をいただいません

- WHO-HPH(健康増進活動拠点病院)認定病院
- 機能強化型在宅療養支援病院
- 東京都指定二次救急医療機関
- 東京都災害拠点連携病院
- ISO9001認定取得

急性期から慢性期、在宅準備の入院医療を急性期病棟と地域包括ケア病棟が連携します



急性期病棟(3階病棟47床)は、東京都指定二次救急医療機関として内科を中心とした一般急性期、比較的軽症でかつ緊急を要する高齢者救急や消化器精査・糖尿病教育・コントロール、短期集中リハビリ(脳血管疾患後・骨折後)、各種精査入院の対応をしています。
地域包括ケア病棟(2階病棟47床)は、地域包括ケアシステムを支える病床として、リハビリテーション機能強化、在宅復帰機能強化をめざして急性期後の入院受け入れや在宅療養者の生活復帰支援を目的としています。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために在宅療養をサポートします



大泉生協病院は在宅療養支援病院です。通院が困難な方で、脳血管障害・パーキンソン病・心疾患・呼吸器疾患・認知症などの疾患をお持ちの方、また、終末期をご自宅で過ごすご希望の方に対して、月2回の訪問診療を基本に対応します。急変時には、夜間・休日も24時間の連絡、相談に対応するとともに、在宅を支える入院病床を準備しています。訪問診療をご希望の方は在宅部にご連絡いただくか、ご担当のケアマネジャーの方を通してご相談ください。

総合的なリハビリ医療で在宅復帰・社会復帰を支えます



急性期から在宅まで、理学療法・作業療法・言語聴覚療法による総合的なリハビリテーションを提供しています。入院リハビリでは、安静治療による動作能力の低下を最小限にする為、早期からリハビリを開始し早期退院を目指します。外来リハビリでは、退院後も引き続きリハビリが必要な方や回復期～維持期にある方を対象とします。当院では、脳血管疾患、肺炎、骨折、神経難病や治療による安静臥床のため体力が落ちてしまった方等を対象としています。

協力的臨床研修病院として一般的な病気をきちんと診られる総合診療医を育てます



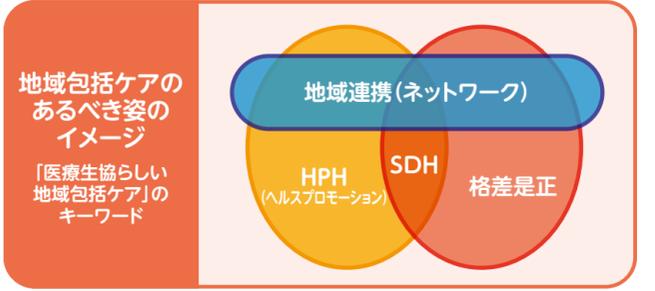
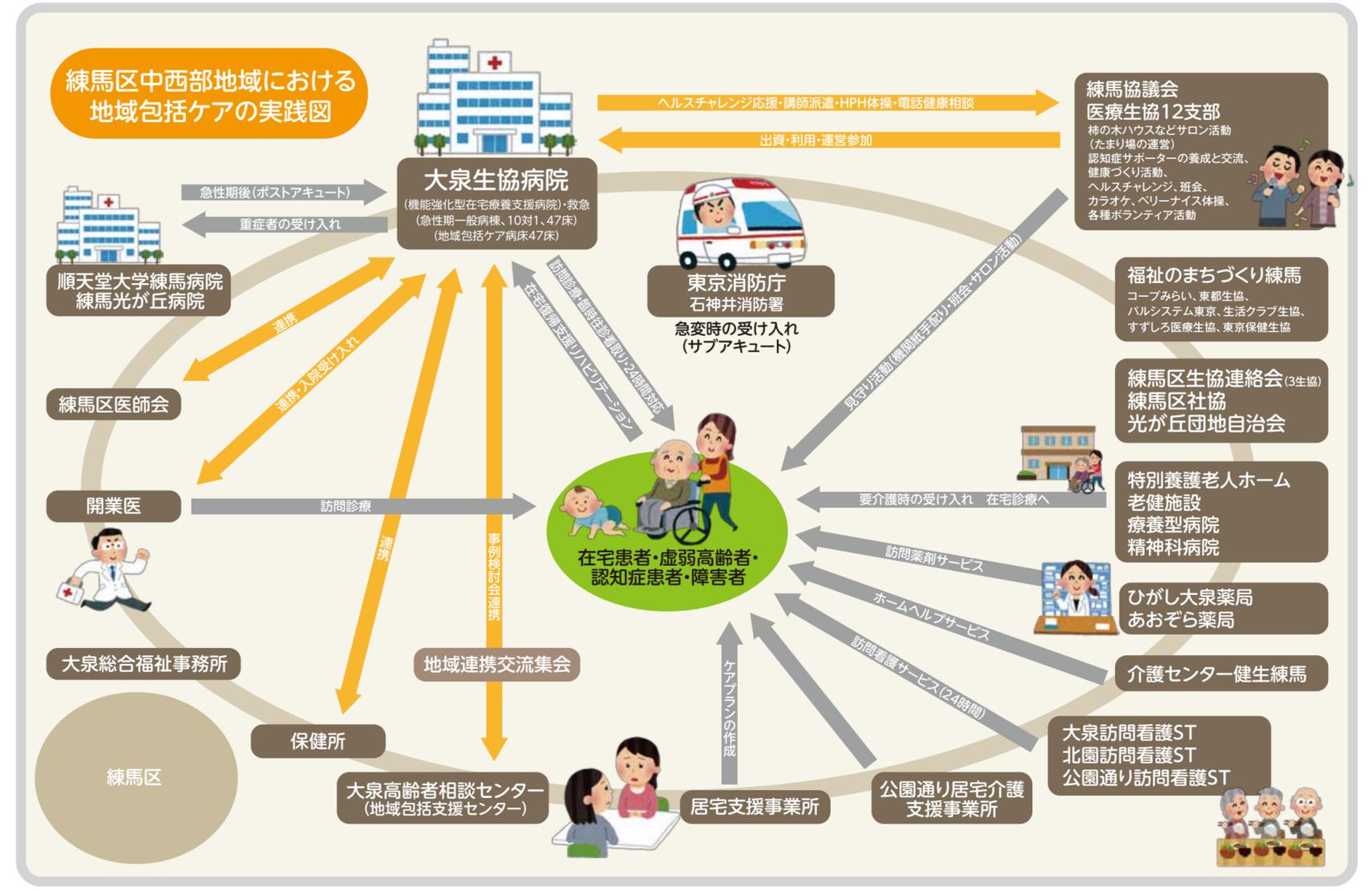
当院が目指す医師像は、地域に根差した総合診療医です。医学部卒業直後の2年間を対象とした初期研修医の育成をはじめ、3年目から5年目対象の後期研修プログラム、6年目から7年目対象のフェローシッププログラムを通じて一貫した医師育成をおこなっています。患者様が病気を抱えながらも、この地域で安心して暮らし続けることが出来るよう生活背景にも目を向けた治療がおこなえる医師を育てていきます。

組合員による安心のネットワークで一人暮らしの高齢者を見守ります



医療福祉生協の地域組合員は、①機関紙の手配り配布、②班会、③サロン活動を通して一人暮らしの高齢者を見守っています。そして、地域組合員だけで解決困難な場合は、大泉生協病院の医療福祉相談課の医療ソーシャルワーカーがサポートしています。さらに、病院として、練馬区の地域包括支援センター(高齢者相談センター)や福祉事務所、地元のケアマネジャーさんとの連携をすすめています。

多世代交流の地域包括ケアの探究と実践をすすめます



24時間・365日対応の急性期医療から療養生活の向上を図る慢性疾患医療の展開



当院の外来は、総合診療科を中心に、二次救急対応から日常生活上の心身の不安、心配ごとに対応できる専門の診療科を設けています。総合診療科は診断のプロとして横断的な広い知識を持ち、発熱、腹痛、咳、食欲不振や健康診断で異常を指摘された際などに対応いたします。慢性疾患医療に対する取り組みでは職種横断的な診療チームで糖尿病、フットケア、認知症等に対応しています。

地域の強い要望から生まれ、成長と発達を支援する小児科



子供たちの成長と発達を支援しようと、乳幼児の発達チェックや両親の子育て相談にも応じられるように、発達心理士も加わったチームですすめています。乳幼児健診、予防接種は完全予約制で行っています。小児科では診療や子供の成長と発達を応援する取り組みとして「ちびっ子シアター」を企画し、楽しく遊び交流するとともにHPHの実践として国際カンファレンスにて報告しました。

早期診断で早期治療へ健康づくりを支援する豊富な健診コースを用意



労働安全衛生法で義務づけられているコースから、腹部エコー、胃部レントゲンも含めたコースの事業所・個人の健診、練馬区の特定健診・高齢者健診や各種がん検診(肺・大腸・子宮・乳がん)も実施しています。半日ドックは総合的な生活習慣病のチェックで病気の早期発見ができる内容です。脳ドックは脳の病的変化を早期に発見し、くも膜下出血や脳梗塞の原因となる脳動脈瘤・血管の狭窄などを詳しく検査します。乳がん健診では医師による触診とマンモグラフィによる検査が可能です。

80歳で健康な歯を20本残す口腔内の健康管理 検診・虫歯・歯周病からインプラントまで



歯科は病院内に併設されることにより、内科治療中の方や入院中の方も他科との連携で安心して治療が受けられます。義歯はもとより矯正、睡眠時無呼吸症候群などもご相談ください。当院は、歯科臨床研修指定施設の認定を受けて、研修医師の受け入れを行っています。

無保険・資格証など経済的に困難を抱える人に寄り添い受療権を支える無料低額診療事業



「無料・低額診療事業」は、生活困難な方が経済的な理由によって、必要な医療サービスを受ける機会を制限されることのないように無料または低額な料金で医療の利用を行うもので社会福祉法に位置づけられている事業です。当院では、生活に困り、診療費の支払いが困難な方に対し、診療費の減額または免除を行う制度を、2014年9月から実施しています。対象となる医療は、当院で提供する「入院・外来・訪問診療・歯科」が対象です。ご希望の方は医療福祉相談課までご相談ください。